

市民参画に係わる市民座談会（第27回）《要旨》

平成25年9月12日（木）午後7時から午後9時まで

市役所別館5階 第5会議室

参加者 13人

【市民】岩垣、大野、坂本、佐野、竹内、兵藤、松下、宮本、山本

【職員】政策企画室 又賀、芦原、山崎 地域づくり支援課 中島

座談会における内容は以下のとおり

1 今後の活動について（第5次総合振興計画に向けた取組み）

■市民懇談会（ワールドカフェ） 平成26年1月中旬開催予定

- ・市民からの一方通行的な意見収集ではなく、出された意見に対してのレスポンスがあれば意見を出した人は自然と興味を持つと思う。
- ・意見を出しても、計画等が進むにつれてその意見が途中で消えてしまい、反映されないと段々関心が薄れるので、その点を考慮してほしい。
- ・1月の市民懇談会の前に、祭りの実行委員会や市民活動まつりがあるので、事前に意見を聞くなどし、市民懇談会時にうまく反映できる仕組みを作って欲しい。
- ・市民懇談会に向けて、事前に意見を収集する方法として、分野毎にシートを用意し、ポストイット等で自由に意見を書いて貼り付けてもらう。無記名だとなお参加しやすいと思う。
- ・子どもを入口として、親に興味関心を持ってもらうのも一つの手だと思う。
- ・市民懇談会（ワールドカフェ）の開催に向けた「仕掛け」が必要ではないか。市内で開催する各種イベントに、座談会メンバーが出向いてアンケートを実施し、そのアンケートをそのままワールドカフェに採用するのはどうか。

■分野別懇談会 平成26年1月下旬予定

- ・市民懇談会に参加してもらって、その後に、興味を持った分野に対しての分野別懇談会へ参加を促すとあるが、分野毎に参加者をバランスよく割り振って欲しい。
- ・懇談会や座談会では、それなりの知識を持っていないと意見できない雰囲気があるため、誰でも意見できる雰囲気を作って欲しい。

■総合振興計画全般

- ・総合振興計画というイメージしにくい名称ではなく、もっと親しみを持てる名称に変更してみてはどうか。例えば、“朝霞を良くしていこう計画”など。
- ・スケジュール全体を一つの目標とするより、まず目先の目標に焦点をあてて、一つ一つ取り組んで行く必要がある。
- ・現実的な話も必要だが、そういった意見を求めるだけでは要望の羅列にしかならないので、切り口として、非現実的な話や夢を言ってもいいと思う。そうすると、次につながる意見も出てくると思う。

2 勉強会について

- ・総合振興計画をもっと身近に感じてもらうため、また、そもそも総合振興計画とはなにかを理解するために勉強会の実施を決めた。
- ・平成25年10月25日（金）午後6時30分から
- ・場所 市役所会議室（予定）

3 次回の座談会について

- ・平成25年10月10日（木）午後7時から
- ・場所 コミュニティセンター 第1集会室
- ・市民懇談会へ向けての取組みについて（予定）
- ・勉強会について（予定）
- ・その他